

想いを包んで届ける手紙

ふみびと

その手に、添える手

「甘えるのも親孝行」

親元を離れて暮らすようになった頃の事。それほど遠くに離れたわけではなかったけれど、両親、特に母は心配だったようで、何かと気にかけてくれては、たまに生活に必要なものなどを届けてくれていました。自分たちの生活もあるのだから、とそんなに気を遣わないように言ったのですが、その時に母に言われたのが冒頭の言葉。自立する気持ちは大事

だけれど、頼られることも親としては嬉しいところもあるのだと話していました。

世話焼きの母からすると、自分の子供はいつまでも子供なのかもしれない。

そんな母も歳を重ねるに連れて頼られるよりも頼らなくてはならないことが増えてくるもの。何でも一人でせせせとこなしてしまう母も歳には勝てず、一人ではできないことも多くなってきた

ました。



雨が静かに降る朝、いつもより少しだけ早く目が覚めた。窓の外はまだ薄暗く、しっとりと濡れた地面が静けさを増している。部屋の中においても、雨音が遠くからささやくように届き、胸の奥まで染み込んでくる。こんな日は、せわしない毎日から少し距離をとって、心を整える時間にしたくなる。

何も無い日

とき。読まずに積まれていた本を一冊手に取り、雨音をBGMにペー

お気に入りのマグカップに熱いコーヒーを注ぎ、ゆっくと湯気が立ちのぼるのを眺めながら過ごす。また静かに歩みを進めている。緑の葉が雨に濡れていっそう鮮やかになり、どこかに向かっている。小さな列車のように、時が流れてゆく。何も特別なことはないけれど、こんな日こそ心に残らないことが、時にはかけがえのない時間になるのだ。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手紙を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだす。事務局宛封下まで流す。返封筒にのりをつけて、事務局宛封下まで流す。



次回発送日

次回の発送日は6月16日、30日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ13日、27日まで事務局に到着することを近頃の郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂き、方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報伏せした上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。

